平成23年2月14日

各 位

上場会社名　株式会社 サンエー化研
代表者　代表取締役社長 角田　幸保
（コード番号　4234）
問合せ先責任者　取締役経理部長兼経営企画部長 藤岡　貞章
（TEL　03-3241-5702）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,600	1,000	1,030	582	53.04
今回発表予想(B)	33,500	600	700	330	30.07
増減額(B-A)	△2,100	△400	△330	△252	
増減率(%)	△5.9	△40.0	△32.0	△43.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	33,328	757	868	573	52.24

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,200	920	950	538	49.03
今回発表予想(B)	30,730	515	615	300	27.34
増減額(B-A)	△3,470	△405	△335	△238	
増減率(%)	△10.1	△20.3	△35.3	△44.2	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	30,602	673	777	537	48.98

修正の理由

我が国経済は、円高の長期化、欧米景気の先行き懸念、デフレの影響により足踏み状態にあり、今後の先行きは不透明な状況が続いています。

このような状況の中で当社グループにおいては、以下に挙げました理由によって営業利益、経常利益および当期純利益は、売上高の減少により前回の業績予想を下回る見通しとなったため、上記の通り業績予想を修正致します。

「軽包装材料」については堅調に推移していましたが、回復傾向にあったエアー緩衝材「エアロテクト」がユーザーの在庫調整により伸び悩むとともに、食品関連を中心とする一般包材も国内市場の低迷により厳しい状況となっています。

「産業資材」については、テープ市場における海外安価品の流入によりテープ用基材の動きが鈍く、また電子材料分野においても電気部品関連部材と電材用工程紙は円高の影響によって輸出向けの苦戦が続いています。

前回の業績予想時に好調だった「機能性材料」についても、液晶パネル業界における在庫調整の影響は当初の想定を超えて長期化しており、販売予定数量の確保が困難な状況となっています。

以 上